

もう9月、暑い日が続いております。今年の夏は色んなことがありましたね。連日35度を越える猛暑日が続き暑さの限度を超えて、熱中症で死亡者も出る異常な状態です。異常気温の影響かどうか分かりませんが、集中豪雨によるゲリラ豪雨が広島、岡山、愛媛に起こり、川が増水して堤防を決壊させ洪水被害が出ています。台風も19、20号と連続して日本に近づき、大きな傷跡を残した。災害に遭われた方にお見舞い申し上げます。インフラ整備が求められるところですが、コンクリートの公共工事に予算がつくかどうかですよね・・・毎年このような気象現象が起こってくるのでしょうか。

今年の夏は2人のヒーローを誕生させた。一人は山口県周防大島町で行方不明になっていた藤本理稀(よしき)ちゃん(2)を無事山中で保護した尾畠春夫さん(78)。年金だけの収入で、各被災地におもむいているスーパーボランティアです。報道での情報ですが、お気に入り格言は「尾畠春夫の人生に悔いなし」「たまがる(驚く)ほどの元気 たまがるほどの笑顔 たまがるほどの愛情 たまがるほどのまごころ たまがるほどの幸せを。」尾畠さんは、最低これだけのことを心に決めてボランティアをしているそうです。残りの人生を全て恩返しに充てたいと言う尾畠さんの偽りのない行動に頭が下がります。

もう一人は第100回夏の甲子園で、予選から決勝戦の5回までたった1人で投げ抜いた準優勝の金足農業高校(秋田)3年生のエース・吉田輝星だ。最速150キロのストレートに8種類の変化球も兼ね備える高校生離れした右腕はルックスも抜群です。決して強豪ではない秋田の公立高校から彗星のごとく現れた18歳の未完の大器だ。今回の第100回大会は本来ならば、史上初の2度目となる春夏連覇を成し遂げた優勝校の大阪桐蔭が主役のはずだが、偉業を成し遂げた大阪桐蔭の面々を差し置く形で金足農ナインが完全に話題を独占してしまった。「カナノウ旋風」は日本人の判官びいきもあって大フィーバーとなった。

さて、来年の10月1日から消費税が10%にあがることに法律上はなっています。世の中は2度あることは3度あるとして、今回も延びるのではないかと考えているが、財務省は3度目の正直で是が非でも導入したいと思っています。今回の消費税上げで問題点が2つ。軽減税率が酒類・外食を除く飲食品や定期購読契約に基づく週2回以上発行される新聞に適用されるが、取り扱い区分が判らないとかで、取扱判断が非常に難しい。取扱をはっきりするにはインボイス方式にならざるを得ない。インボイスになると課税事業者でない者はインボイスを発行できないので、小規模事業者は取引から除外されることになる。景気のためには悪影響があるのとそれ以外にもまだまだいっぱい問題点があるので、じっくり再検討して頂くために消費税増税の凍結が一番です。